

プロジェクト **ASAF 対応**項目 **2015 年 3 月の ASAF 会議への対応****2015 年 3 月の ASAF 会議における議題**

1. 2015 年 3 月 26 日、27 日にロンドンで開催される ASAF 会議における議題は以下のとおり予定されている。

議題	時間
IFRS 第 3 号「企業結合」適用後レビュー	1 時間
概念フレームワーク（測定）	2 時間
リース	1 時間
開示に関する取組み	
基本財務諸表	1 時間
重要性	1 時間
収益認識	80 分
保険契約	90 分
資本の特徴を有する金融商品	90 分
共通支配下の企業結合	75 分
持分法	1 時間
ASAF レビュー	45 分

2015 年 3 月の ASAF 会議への対応

2. 上記の議題のうち、概念フレームワーク（測定）、IFRS 第 3 号「企業結合」適用後レビュー、及び資本の特徴を有する金融商品については、2 月 23 日開催の専門委員会において、収益認識、リース、持分法、及び開示に関する取組みのうち重要性については、3 月 16 日開催の専門委員会において、議論を行っている。

また、概念フレームワーク（測定）、IFRS 第 3 号「企業結合」適用後レビュー、リース及び ASAF レビューについては、3 月 6 日開催の企業会計基準委員会において審議を行っている。

3. 本日の企業会計基準委員会では、収益認識（審議事項(1)-2 参照）、持分法（審議事項(1)-3 参照）、及び開示に関する取組みのうち重要性（審議事項(1)-4 参照）に関する ASAF 会議における発言案の審議を行う。
4. なお、リースについては、前回の専門委員会以後、IASB のボード会議で新しいリース基準の書面投票手続を開始することが暫定決定されており（別紙参照）、また、

「Practical implications of the new lease Standard」(審議事項(1)-1 参考資料 1 参照)が公表されている。ASAF 会議においては、前回の企業会計基準委員会の発言案に加え、これらも踏まえた発言を行う予定である。

5. 以下の議題については、時間の関係上、本委員会では取り上げないこととするため、参考資料として配布のみとする。
 - (1) 開示に関する取組みのうち基本財務諸表については、注記を除く財務諸表の役割について議論を行うことが予定されている(審議事項(1)-1 参考資料 2 参照)。
 - (2) 保険契約については、保険契約基準の初度適用における IFRS 第 9 号に関する移行の救済措置、当委員会より提出したペーパー「未稼得利益の表示に関する OCI の使用」、及びこれに対する IASB スタッフによる反論がまとめられたペーパーについて議論を行うことが予定されている(審議事項(1)-1 参考資料 3 参照)。
 - (3) 資本の特徴を有する金融商品については、欧州財務報告諮問グループ(EFRAG)からディスカッション・ペーパー(DP)「請求権の分類」に寄せられたフィードバック、IASB の資本と負債の区分に関するリサーチ・プロジェクトの範囲及び資本の特徴を有する金融商品の具体例について議論を行うことが予定されている(審議事項(1)-1 参考資料 4 参照)。
 - (4) 共通支配下の企業結合については、アウトリーチにおける IASB の発見事項及びカナダ会計基準審議会が作成したペーパーについて議論を行うことが予定されている(審議事項(1)-1 参考資料 5 参照)。

以 上

(別紙) 2015年3月IASB daily staff Updateの抄訳¹

Agenda Paper 3A: Due Process, Re-Exposure and Permission to Draft
アジェンダ・ペーパー3A: デュー・プロセス、再公開及び文案作成の許可

The IASB reviewed the mandatory and non-mandatory due process steps that the IASB has taken in preparation for the publication of the new Leases Standard, also noting the role that convergence with the FASB has played in the Leases project and the reasons for any non-converged decisions.

IASB は、FASB とのコンバージェンスがリース・プロジェクトの中で果たした役割及び収斂していない決定の理由についても留意しつつ、IASB が新しいリース基準の公表に向けて行った必須のデュー・プロセスのステップ及び必須ではないデュー・プロセスのステップをレビューした。

The IASB also considered the re-exposure criteria in the Due Process Handbook. The IASB noted it had made changes to the proposals in the 2013 ED, but that those changes: IASB は、また、デュー・プロセス・ハンドブックの再公開の規準も考慮した。IASB は、2013年EDの提案を変更したが、これらの変更は以下のいずれかであることに留意した。

- a. have already been exposed for comment (eg the single lessee accounting model was proposed in the 2010 Exposure Draft);
コメントの募集のためにすでに公開している（例えば、単一の借手の会計モデルは、2010年の公開草案で提案された）。
- b. are changes to retain existing accounting (eg the lessor accounting model); or
現行の会計処理を維持することへの変更である（例えば、貸手の会計モデル）。
- c. represent simplifications or clarifications to the guidance proposed in the 2013 ED in response to feedback received (eg the small asset recognition and measurement exemption).
寄せられたフィードバックへ対応して2013年EDで提案されたガイダンスを簡素化または明確化するものである（例えば、少額資産の認識及び測定の免除）。

The IASB also noted that the questions in the 2013 ED specifically asked for respondents' views on alternative approaches to lessee and lessor accounting, which facilitated receiving extensive feedback in these areas. Accordingly, the IASB decided that re-exposure was unnecessary because it would be unlikely to reveal any new information. All IASB members agreed with this decision.

IASB は、また、2013年EDの質問で具体的に、借手及び貸手の会計処理の代替的なアプロ

¹ 本抄訳は、企業会計基準委員会（ASBJ）のスタッフが参考のために作成したものであり、翻訳の際には読みやすくするための意識や省略が含まれている。正確な理解のためには、それらの英語原文を参照の上ご利用されたい。

一について回答者の見解を求め、これらの分野において広範なフィードバックを得られるよう促したことに留意した。したがって、IASBは、再公開により新しい情報が明らかになる可能性は低いため、再公開は不要であると決定した。IASBメンバーの全員がこの決定に賛成した。

All IASB members confirmed that they are satisfied that the IASB has completed all of the necessary due process steps on the project to date and therefore instructed the staff to commence the drafting process for the new Leases Standard.

IASBメンバーの全員が、IASBがこれまでにプロジェクトに必要なデュー・プロセスのステップのすべてを完了しており、したがって、スタッフに対して新しいリース基準の文案作成のプロセスを開始するよう支持することに納得していることを確認した。

One IASB member indicated an intention to dissent from issuing the new Leases Standard. 1名のIASBメンバーが新しいリース基準の公表に反対する意思があることを示した。

Next steps

今後のステップ

The staff will start the balloting process for the new Leases Standard. The IASB will discuss the effective date and any sweep issues that arise at a future board meeting. スタッフは、新しいリース基準の書面投票手続を開始する予定である。IASBは、今後のIASB会議で、発効日及び生じる整理論点を議論する予定である。

以上